

74期生 休校中の学習について（第1/4週）

・以下の課題に取り組むこと。

●国語科共通の読書課題（全員が取り組む。詳しくはホームページより。）

●各科目の課題

≪現代文≫（全員が取り組む。）

- ① 『錬成現代文2+』 p28～p31を解く。

≪古典≫（全員が取り組む。）

- ① 教科書『十訓抄』（p8～p9）について

- i. 本文をノートに写す。
- ii. 品詞分解と現代語訳を行う。

≪古典標準≫（選択者が取り組む。）

- ① 『国語総合 古典編』（※1年の時の古典の教科書）について

- i. 『伊勢物語』『筒井筒』 p39～p41の本文をノートに写す。
- ii. 上記の品詞分解と現代語訳を行う。

- ② 『新精選 古典文法』 p154～p157の「用例」を覚える。

- ③ 『精選 漢文』 p38～p53の各句形の「例文」を覚え、「確認問題」を解く。

≪評論文講読≫（選択者が取り組む。）

☆ 年間予定を参考に、以下の指示するところを、まず熟読してください。

- ① P.2 「はじめに」→「評論とは何か」を述べているところに線を引いておく。

- ② P.6 「この本の構成と使い方」

→第二部で(1)本文 (2)リード (3)…とあるが、それぞれ、どれがどのような意図で置かれているか、確認すること。

- ③ P.8 「評論への招待」

→よく読んで、用語の意味を理解しておくこと。

特に、「序論・本論・結論」といった文章構成、P. 10「筆者の主張をとらえる」、〈主な接続語〉は重要です。

- ④ P.12 ①段落相互の関係

→キーワード、キーセンテンスのとらえ方について理解し、段落相互の関係を読み取ることを、意識できるようにしよう。

- ⑤ P.16 ②対比

→対比されているものを読み取ることは、評論読解の基本です。ゆえに、大学入試では「二項対立」の読み取りが多く出題されます。

- ⑥ P. 20～P. 24～ ③具体と抽象 ④レトリックー比喻の力

→かなり難しいです。難しいこと（＝人間が考えるべき課題）は、簡単には語れません。だからこそ、様々な方法で伝えようとしします。理解できるよう、チャレンジしてください。

- ⑦ 授業予定の右に、授業の準備として実行してほしいことが書いてあります。

余裕をもって授業に臨めるよう、心がけてください。

【参考】評論文講読 授業予定

※使用テキスト

序	評論への招待（はじめに）
1	真実はひとつじゃない
2	未来の他者と連帯する
3	隠れたカリキュラム
4	未知へ向けての信号
5	マンガの哲学
6	視線のカスケード
7	箱の増殖
8	「誰か」の欲望を模倣する
9	貨幣と言語
10	国境を越えることば
11	他者の言葉
12	ボランティアとはなにか
13	イノセンス
14	国家権力とはなにか
15	文学のふるさと

「ちくま評論入門」

- 1、 定期考査1回につき、3教材を範囲とする予定です。
- 2、 授業前にしっかり読み込んで、漢字の読み、言葉の意味を調べておいてください。
- 3、 各文の終わりに読解問題が付いています。必ず、考えて自分で解答を書いてみましょう。
- 4、 第一部「評論への招待」には、評論のしくみと読解のスキルについて書かれています。何度も繰り返し読んで身につけましょう。